

令和元年度、国土交通省による「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」試行結果の評価について

オフィスケイワン株式会社

国土交通省による「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」について、昨年度、オフィスケイワンが参画した試行現場における評価結果が公表されましたのでお知らせいたします。引き続き、試行技術の現場実装に注力してまいります。

1. 試行現場

工事名：大野油坂道路九頭竜川橋上部工事（国土交通省近畿地方整備局）
工事場所：福井県大野市下山地先
工事内容：PC4径間連続箱桁橋 L=273m（支間長：59.5m+86m+65m+61.5m）
試行工期：2019年9月3日～2020年3月25日

2. コンソーシアム構成企業

IHI インフラ建設、オフィスケイワン、アイティーティー、インフォマティクス、千代田測器

3. 評価結果

データを活用して土木工事における施工の労働生産性の向上を図る技術 総合評価＝A

【凡例】（A～Dの4段階評価）

- A：試行は十分な成果があり、技術の導入効果や社会実装の実現性について高く評価できる
- B：試行は一定の成果があり、技術の社会実装に向け今後の技術開発が期待される
- C：試行は一定の成果があるが、技術の社会実装には更なる技術開発や課題解決が必要
- D：試行に成果があったとは言い難い



以上